



高取城の最大の魅力は、高い山上に累々と残る石垣や石塁でしょう。
 おおてすじ 大手筋から登ってその石垣に出会った時の感動は実際に体験した方でないといわれない貴重なものです。
 『ええR高取町』アプリを使えば、かつての高取城を3DCGで再現した姿と見比べることができ、より一層楽しむことができます。

アプリ『ええR高取町(※詳細はP10を参照)』を起動し、このページ全体をお手持ちのスマホ・タブレットでかざすと、高取城の3DCGをお楽しみいただけます。また、図面内のARスポット(オレンジのアイコン)ではその場所の再現CG画面が現れます。

●高取城縄張図:高田徹氏(城郭談話会)の作図に彩色



④太鼓櫓(たいこやぐら)・新櫓の石垣
 本丸の手前に配置された特徴的な石垣です。昭和47年度に修復されました。この上に太鼓櫓・新櫓が建てられ堅牢な構造となっていました。



③七つ井戸
 高取城の裏手(搦め手・からめて)側の急な斜面には七つ井戸と呼ばれる石垣造の井戸を四つ見られます。山城では水の確保が要となります。



②本丸の高石垣群
 高取城の本丸は大天守・天守・三層櫓群を多聞櫓(長屋状の櫓)で繋ぐ壮大な構えでした。今も高石垣が連なります。写真は鐘(あぶみ)櫓台です。



⑤国見櫓(くにみやぐら)からの眺望
 かつて国見櫓と呼ばれる二層造りの櫓が建っていた場所からは、その名にふさわしく大和を一望できるかのような眺望が楽しめます。



③七つ井戸の石垣
 七つ井戸のある斜面には石垣が連なるように築かれています。下から見上げると、新櫓(しんやぐら)台まで巨大な高石垣のように錯覚します。



②本丸虎口の石垣
 城の出入口を虎口(こぐち)と呼びますが、最も厳重な形式が樹形虎口(ますがたこぐち)です。本丸の樹形虎口は城内でも特に強固です。



⑥水堀
 二の門の左脇に、山城には珍しい石垣造りの水堀が現在も水を湛えています。水量が増量すると奥の谷部に落とす工夫も見られます。



①本丸天守台の石垣
 城内最大の高さ(約12m)を誇る圧倒的な天守台石垣。かつて三層の天守が建っていました。現在の趣ある苔むす石垣の姿も魅力があります。



①天守台穴蔵(あなくら)入口の転用石
 高取城の石材には古墳の石棺が使用されています。どこにあるか転用石を探してみてください。



⑦猿石
 愛嬌のあるお猿さんの謎の石像です。近隣の明日香村でも類似の石像が見つかっています。

- くまわ さくへいち 曲輪・削平地 城の区画
- 石垣 斜面を石積みで固めたもの
- きりざし 切岸 人工的に加工された斜面
- からほり ほりきり 空堀・堀切 敵の制限・遮断する為の堀
- せきいり どのい 石垣や土で固めた城壁
- みずぼり 水堀・井戸 山城には珍しい水堀遺構
- 崩落部 風雨によって土砂が崩落した箇所
- 簡易トイレ ARスポット 解説スポット

※整備が十分ではない箇所もあります。足元に注意しながら安全にお城散策をしてください。